海老名駅周辺整備見直し

真に望まれる「玄関口」めざして

継続・中止・停止の3区分で予算編成

市民の皆さんのご意見を仰ぐ

市では、海老名市の玄関口である海老名駅周辺整備事業の見直しを行い、一部の事業を中止するとともに、一部については平成16年度、真に望まれる海老名駅とその周辺の姿に関して市民のみなさんのご意見を再度いただくこととしました。

多額の予算を投入する海老名駅周辺整備事業は、今までの経過、これからの展望を踏まえて、継続・中止・停止に区分して予算を編成しました。

整備が見直される海老名駅周辺

●継続して実施する事業

「海老名駅自由通路整備（中央三丁目方面）事業」、「市道326号線道路改良事業」、「鉄道立体交差（高架）事業」、「鉄道立体交差（側道整備）事業」、「河原口勝瀬線整備事業」は、投資効果が高く、市民のみなさんの理解が得られると判断しましたので、このまま積極的に継続していきます。

●中止する事業

「電線共同溝整備事業」、「コミュニティ・ゾーン形成事業」については、市民合意や投資効果に疑問があり、関係者に多大な迷惑をかける可能性がほとんどないため、中止としました。

中止した事業は、改めて市民のみなさんへ情報提供を行い、周辺の土地利用の進み具合により必要であると判断したときには、新たな事業として再度取り組んでいきます。

●停止して検討する事業

「海老名駅自由通路整備（駅舎部）事業」は、多大な予算を必要とするにもかかわらず、市民のみなさんに十分な情報提供を行わないままに実施設計まで終わり、関係者との具体的な調整に入っており、直ちに実施、中止の判断ができないため、一時停止としました。

この事業は、設計内容はもちろん、事業費および鉄道事業者との負担割合について、見直しのための調査予算を計上しました。

事業の推進には、市議会をはじめ市民のみなさんのご理解が不可欠です。みなさんには十分に情報提供を行い、いただいたご意見を基に、分析・検討を重ね、市議会とも協議しながら、今年中に変更して実施するか、中止するかの判断をいたします。

毎日25万人が乗り降りする海老名駅は、海老名市の中心であり、玄関として、より安全で快適であるべきだと考えています。今後も十分な情報提供を行いながら、真に望まれる海老名駅とその周辺の姿を市民のみなさんと共に追求し、「住みたい、住み続けたい海老名」のまちづくりを推進してまいります。

問　駅周辺対策課。

市、春の人事異動

理事1・部長級40 含む337人を発令

市では、4月1日付けで、理事1人、部長級40人、課長級92人、副主幹級38人、主査級64人を含む337人の人事異動を発令しました。部長級以上の異動は次のとおりです（カッコ内は旧）。

▽理事〔都市担当〕（国土交通省）　本多　直巳
▽参事兼市長室長（企画部参事兼市民活動課長）　山本　紳一郎
▽総務部長（秘書部長）　志村　秀雄
▽総務部次長（市民環境部参事兼農政課長）　黒沼　善長
▽総務部参与〔行政相談担当〕（参与）　鈴木　節男
▽総務部参与〔行政相談担当〕（参与）　瀧澤　和隆
▽企画部次長（総務部参事兼文書法制課長）　加藤　邦夫
▽企画部参与〔消防計画担当〕（消防長）　遠藤　勝
▽企画部参事兼企画経営課長（秘書部参事兼行政課長）　渡辺　正明
▽企画部参事兼情報システム課長（生涯学習部参事兼図書館長）　左藤　二郎
▽企画部参事兼市民活動課長（企画部参事兼企画政策課長）　佐藤　裕
▽財務部長（総務部参事兼財政課長）　碓井　眞
▽財務部次長（市民環境部参事〔環境・資源担当〕）　飯鳥　民夫
▽保健福祉部次長兼福祉事務所長（総務部参事兼資産税課長）　土屋　正男
▽保健福祉部参事〔社会福祉協議会〕（保健福祉部参事兼障害福祉課長）　片野　勲
▽保健福祉部副参与〔健康づくり担当〕（秘書部副参与）　上田　裕敬
▽市民環境部次長（保健福祉部参事兼予防保健課長兼保健相談センター所長）　高山　央
▽市民環境部参与〔資源化担当〕兼リサイクルプラザ所長兼資源化センター所長（参与）　安田　正勝
▽市民環境部参与〔高座清掃施設組合〕（参与）　小沢　英雄
▽市民環境部副参与〔美化管理担当〕（総務部副参与）　森山　勇
▽市民環境部副参与〔ISO担当〕（監査委員事務局長）　小泉　澄雄
▽建設部長（建設部参事〔下水道担当〕）　永田　正行
▽建設部次長（建設部参事兼用地課長）　塩脇　勉
▽建設部参与〔高規格道路担当〕（建設部長）　内海　清
▽建設部参事兼用地課長（保健福祉部参事兼児童福祉課長）　鴨下　益美
▽まちづくり部長（農業委員会事務局長）　須田　長治
▽まちづくり部次長（保健福祉部参事兼保険年金課長）　和田　敏
▽まちづくり部参与〔駅周辺整備担当〕（まちづくり部長）　高井　仁男
▽参事兼会計課長（保健福祉部参事〔高齢福祉担当〕兼福祉事務所長）　鴨志田　務
▽消防長（消防次長）　小泉　政夫
▽消防次長（予防課長）　清水　静夫
▽参事兼消防署長（消防総務課長）　野崎　久男
▽議会事務局長（まちづくり部参事兼都市計画課長）　柏木　英明
▽教育調整担当部長（議会事務局長）　富澤　克明
▽教育総務部次長（神奈川県）　高村　恵
▽教育総務部参事兼学校教育課長（学校教育課長）　鈴木　清作
▽生涯学習部長（建設部参事兼道路整備課長）　尾山　勇
▽生涯学習部次長（生涯学習部参事兼生涯学習課長兼文化会館長兼中央公民館長）　山本　与郎
▽生涯学習部参事兼生涯学習課長兼文化会館長兼中央公民館長（まちづくり部参事兼都市整備課長）　西海　豊道
▽監査委員事務局長（保健福祉部参事兼福祉総務課長）　吉川　正夫
▽農業委員会事務局長（生涯学習部長）　柏木　昇

問　職員課人事担当。

助役に小山 晃氏就任

小山新助役

平成16年3月30日、平成16年第1回海老名市議会定例会最終日に、海老名市助役の選任同意議案が可決され、第7代海老名市助役に総務部長の小山晃（あきら）氏が選任されました。任期は4月1日から20年3月までの4年間となります。

小山氏は、昭和45年4月、海老名町職員として採用され、企画課長、財政課長、保健福祉部長、総務部長などを歴任しています。

内野市長は、助役の人選について、市役所に活力を与え、行政事務事業を質・量ともに向上させるため、外部登用も視野に入れて選考してきました。

今回、助役を市職員から内部登用した理由として内野市長は次の4点を挙げています。

一　市長の考えを行政事業化して実現するためには、財政、人事に関することも含め地方行政に精通し、行政経験が豊富な人材であること。

二　市議会との交渉作業を行うため、議員から信頼される人材であること。

三　市長補佐役としての姿勢を理解して執務できる人材であること。

四　給与の20パーセント減額に賛同できること。

〔小山助役略歴〕

▽昭和45年3月　日本大学法学部卒業　▽同年4月　海老名町役場に奉職　▽平成3年　広報広聴課長　▽同4年　企画課長　▽同7年　企画部参事兼企画課長　▽同9年　総務部参事兼財政課長　▽同11年　保健福祉部長　▽同15年　総務部長。

問　市長室秘書担当。

神森収入役が退任

神森利彦氏

市収入役の神森利彦氏が3月31日付で退任されました。

神森氏は、昭和34年7月から海老名町および海老名市職員として39年10カ月間にわたり在職し、企画部長、秘書部長、総務部長などを歴任。平成11年5月から収入役として2期4年11カ月務められ、市勢発展に貢献されました。

なお、4月1日以降は収入役不在のため、規則により当分の間会計課長が職務を代理します。

問　会計課。